

幌北まちづくりセンターニュース

まちづくりの一環として、センターが参加させてもらった催し物の報告です。(5月分)



5月24日(火)に幌北小学校南側の柵に幌北福祉ボランティアの協力を得て、3年生のクラスの子供たちに花を植えてもらいました。

これは、15・6年前から行われているということも、伊藤校長が教えてくれました。

また、この後に地域の町内会長2名がそれぞれのクラスにお邪魔して、4時間目の授業を担当しました。楽しい140分間を子供たちと過ごした。と、感想を述べていました。



5月27日(火)北辰中生徒会にリングプル約30kgを贈りました。(後日、教頭先生から今回のもので車椅子1台分600kgになったとの報告がありました。)

リングプルの回収を行うことになったのは、北辰中生徒会の「アルミ缶のリングプルを集めて車椅子を贈ろう」という運動に幌北の地域の皆さんが賛同して実現したものです。昨年の7月から今年の5月までの11ヶ月の短期間で集まった量です。これを持って、運営委員の方2名が学校にうかがいました。

この件については、当日のコミュニティFM放送のそら色ステーションで放送されました。この内容を録音したテープを生徒会の皆さんに聴いてもらいましたが、「北辰中学校の生徒会の…」と紹介されたときの顔はほんとうにうれしそうでした。

これは、小さな運動ですが、続けることの大切さをあらためて認識しました。



5月30日(月)幌北福祉ボランティアが、児童会館に集まる子供たちと、周辺道路等に捨てられているゴミの回収を行いました。子供たちは、「誰がどうしてこんなに捨てるの?」とボランティアの方に聞いていました。

ボランティアの方は、子供たちとのふれあいを新鮮に感じたようです。このあと、あじさい公園で休憩をし、ここから児童会館への帰り道にもゴミを拾い、分別して終了しました。

今回、児童会館の職員にも協力をしてもらいましたが、これからも参加してくれるようお願いしました。職員からは、帰ってきた子供たちの表情が生き生きしていたとボランティアの方々に伝えられ、それを聞いたボランティアの方々が、たいへん喜んでいたので印象的でした。

これからも、このような活発な世代との交流の機会を積極的に取り入れて生きたいと思いました。



